

軽米町百人委員会平成 28 年度第 2 回はつらつ子育て部会議事録

○開催日時：平成 28 年 9 月 4 日（日）午後 1 時 3 0 分～午後 3 時 0 0 分

○開催場所：軽米町役場庁舎 3 階会議室

○出席者

委員：14 人中 6 人出席（宮本友利、村井浩和、高橋啓介、鶴飼久子、百鳥陽子、上岩恵美子）

事務局：健康福祉課 於本、坂下、加藤

教育委員会事務局 寺地

総務課 吉岡 荻谷

○開会

（健康福祉課長）それでは定刻となりましたので、ただ今から平成 28 年度第 2 回軽米町百人委員会はつらつ子育て部会を始めさせていただきます。それではまず、部会長より挨拶いたします。

○部会長あいさつ

（部会長）お忙しいところまた、台風の後でですね、いろいろと大変なこともあった中でお集まりいただきましてありがとうございます。まず前回もそうだったんですが、少人数ということでどうするという話し合いもなかなか難しいと思うんですけれども、進め方に大変苦勞しているところなんですけれども。今日はこの後に講師の先生をお招きしての講演会も開催されるということで、それと抱き合わせての第 2 回はつらつ子育て部会ということです。少人数ではございますが、皆さんから忌憚のないご意見をいただきながらの会にしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

（於本健康福祉課長）それでは、議事の方に入らせていただきます。議事の進行は部会長さん、よろしく願いいたします。

○議事

（1）提言に向けた 2 つのテーマについて

（部会長）それでは、議事の方に入ります。議事の（1）提言に向けた 2 つのテーマについてということで、前回ですね、グループワークか全体での話し合いかということでしたが、これは今回グループワークということですか？

(事務局) はい、前回の話し合いでは、全員集まれば14人ですので、7人グループに分かれて、赤ちゃんから高校なり大学なりの学校を終えるまでの子育てについてと、就職してから親になるまでの2つのテーマで町の良いところ悪いところあるいは要望などを提言として出せばいいのかなということだったんですけれども、このとおり現在6人しかいませんので、2つに分けてというのも今回どうなのかなというところもありますので、そこもちょっと話をしてもらって、テーマを1つに絞るとか、6人で話し合った結果をまた次回の部会で集まった皆さんにもんでもらうとかがいいのかなとは思っています。ただ、もしあれであれば、総務課で予定していたのは部会は3回ということでしたけども、もう少し議論したいということであれば4回目があってもそれは全然いいことだとだと思えます。そう言ったところも含めて、皆さんで話し合っただけならばと思います。そしてぜひ提言まで行ければと思っています。

(部会長) では、皆さんどうでしょうか。この間はグループワークがいいんじゃないかということで、支援制度ということで話し合われましたが、本日もまた人数が少ないということで、皆さんお一人おひとりのご意見をいただくということでいいんじゃないでしょうか。そうするとテーマを決めなきゃいけないですね。

(委員1) すいません、今日集まったのは、安心して子育てできる環境とここに住み続けられる環境という2つに対してどういう風なことが考えられるかというのを今日参加した方々で話し合うというのが一番のポイントなのかなと思うので、やってしまった方がいいのかなと。また4回目とかなると、同じように人が集まらなかったりとかも考えられるし、それを考えているとまた時間も押してしまうので、今日やろうとしてたことはやっぱり今日やってしまうとか思っていることをお話しして、グループワークはやはり人数も少ないのでたとえば生まれてから就職するまでのパターンを時間を決めて、30分なら30分で良いところ悪いところを出す。そして後半に、就職から出逢いまでの良いところ悪いところを出しあっておくというのが今日一番いいんじゃないかなと思います。でないと、また4回目とかなっても同じような状態が起きるような気がするのです。

(部会長) はい、皆さんはいかがですか？いいですか？それではまず、出生から就職くらいまでを一つの区切りにして、時間を決めてやりますか。

(委員1) できれば、予定どおりグループワークでやってみませんか？

(事務局) そうですね、このままの形でより、顔を突き合わせての方がいい気もするし、KJ法じゃないですけど、先に紙に意見をどんどん書き込んでいってもいいかなと思います。

(部会長) それでは、グループに分けてやりますか。

(事務局) 先ほどのテーマの中で、良いところや悪いところを、一人一つじゃなくていいので、思いつくままにどんどん書いていって、似たような意見があれば近くに並べていく、その中で課題を見つけていきましょう。講演会もありますので、書き出すのは2時くらいまでのところをお願いします。

～10分ほど書き出し～

(部会長) はい、そろそろ時間ですけどよろしいですか？じゃあ紙を真ん中に出して、一応良い点とそうでないのに分けますか。

(委員2) 発表して、それから振り分けますか？

(部会長) そうですね、じゃあまず発表してもらいますかね。

(委員1) じゃあ、私から。ピヨピヨ広場とか児童クラブとか使ってたのもあるんですけど、とてもありがたかったなというのがあります。どんどん行きますね。保育園にもとてもお世話になったし、お祭りなんかは大人も子供も一緒に楽しめるのでやっぱり大切にしていかなきゃなというのと、中学校と高校の連携がなっているような気がします。じゃあ次、悪い方というか課題ですよ。公園がないというか、外で遊べる場所がないということ。それから、子どもの数がやはり減ってきているので、昔はソフトボールとかそういう子ども会とかでやってきた行事が出来なくなってきているなというのがあります。それから中学校がひとつになったことで、やはり通学などの不便さがあるかなと。それからスポーツとか何か活動させるときにこれも子供の数が少ないのが大きいんですが野球とか何をするにも人が少なくて大変かなというのが。

(委員3) 私は、軽米病院に小児科がない時に産んでいるので、小児科ができて良かったなと。あと保育園は、笹渡は3歳からなんだけれども、早い時間から預けたいのであれば八戸とかの施設も選べて、あとは町の方からもお手伝いしてもらって、補助とかもしてもらって、保育園を通勤に合わせて選べた。あと、乳児健診で保健師さんから小さい子どもたちに向けての本の紹介とかもありましたけれども、発達相談をしてもらって、それに合わせて幼児教室などにも参加させてもらえるようになりました。また、学校に関しては幼稚園小学校から高校までは町内にあるので通えるし、養護学校とかも久慈や八戸にあるので通学可能な圏内なのかなと思います。まず、親さんが通勤できるということは、その分通学もできるのではないかなと、交通の便がすごくいいなと思いました。最近は広報もよく読むようにしてますし、無線やテレビの放送もあつていろんな情報が入るので、参加していない行事にも参加してみたいなと思えるようになりました。また、学校が統合したことでいろんな考えを持つ友達に会えてよかったなと思っ

てます。

(委員4) さっきも出ていましたけど、児童クラブに預けることができ良かったなと思います。あと、悪い点ではないんですが、病児保育もあればいいかなと思います。児童クラブでちょっとあれだったんですが、私がたまたま行ったときにケガした子がいて、親が来るまで病院に連れていけなかったのが、あれがやっぱり、預かっている人たちがすぐに病院に連れていけてればよかったんじゃないかなというのがあって。その子は骨が折れていたんです。ただ肩はずれたのか何かもわからないまま、お母さんが来るまで痛いのを我慢させることになってしまっていたので、何とかならなかったのかなと思いました。あとは児童クラブの子たちが、笹渡や小軽米からわざわざ町に行って、親の人たちがまたそっちを回って帰るとい、町の方で仕事している人たちはいいんですが、笹渡にも児童クラブみたいなちょっとしたのがあればいいなと思います。

(委員2) 私はこの意見と同じなんですけど、大きな公園が欲しいなと思いました。南郷にあるような感じのとかですね。小さな子どもたちが遊ぶような大きな公園があることによって、軽米に人が来るようなこともあるんじゃないのかなと思いました。軽米に人が来るにはどうしたらいいかなというのも考えながらというのもあったんですが。あと、これもさっきも出てましたけども、昔は子ども会のソフトボール大会とか、地区でやってたこととかがあったと思うんですが、今それがなくなりました。そのことでスポ少みたいなのはあるのでやりたい子どもたちはできるかもしれないけど、うちの娘なんかは実は何もやっていないような状態です。なんというか、強制力があるようなスポーツ大会なんかをもっとあってもいいのかななんて思いますけどもね。あと、どんどん貼りますけども、保育園なんかも一人目が半額で2人目がタダとかって聞きましたけども、それもすごくいいなと思っています。それを町内でもですけど、町外にももっともって発信してもらって、周りに住んでいる人たちに、軽米ってすごく子育てに力入れているんだというのを知ってもらえれば、軽米の人口も増えるんじゃないのかなと思います。それから、統合して廃校になった学校があると思うんですけども、その体育館とかをですね、例えば床を全部取っ払って土にすれば、子どもたちの屋内運動場とかにもなるんじゃないのかなと思ったりです。晴山の方の小学校の体育館とかをうまく使って、バスケとかバレーとかの専門の施設にするとかいうのもあったりすればいいのかなと。よく聞くのが、南郷にはそういう屋内施設があるそうですが、すごく予約取るのが大変だと。南郷の人だけじゃなく、二戸からも借りに行ったりとかあるらしいので、そういうのがあれば軽米に来る人も増えるんじゃないの

かなと思いました。

(委員5) 発達健診とか5歳児健診とかきめ細かくやっているところは良いと思います。ここにいるとこれが普通と思うんですけど、他の町から聞くとあまり目が届いていないところもあるらしいので。あと、幼稚園とかはむし歯への取り組みがすごくいいですね。歯みがき指導とかそういったところはこれからも続けて行ってほしいし、もっと広く、各保育園・幼稚園・児童館・学校などにも広げて行っていけばいいかなと思います。あと、足りないところというかはやっぱり公園ですね。公園が欲しいです。子どもが遊べる公園が圧倒的に少ない。先ほど出た南郷のような大きな遊具付きの公園っていうのもあると思いますし、そうじゃなくてある程度雑草とかの管理だけしてくれれば遊具とかの無い広場だけの公園とかがあってもいいのかなとは思っています。野球みたいなのはあれですけど、少しくらいボールをけつても道路に出ていかないくらいの広さの公園、広場があってもいいのかなと思います。まあ、いろんなタイプの公園があると思うので、モデルの町とか、そういったのをさがして、良いところをマネしていればいいのかな、課題とかも聞いたりしながら。あとは、スクールバスとかの利便の向上ですね。各方面1便ずつとかになっていると思うんですけど、人の用事とかスポ少とかによっては早い時間遅い時間があればと思ったり、今回の災害時の復旧活動を早めにとか、まあ今回みたいなのはさすがに例外だとは思いますが。あと、親がちょっと用事があるときの短時間の託児ができれば。小学校に上がってしまえばそんなじゃないんですが、幼稚園の頃とか、親が床屋に行ったり病院に行ったりするときに子どもだけ置いてってというのはちょっと心配で。特にも病院なんかだと子どもを一緒に連れて行って逆に病気をうつされてきちゃうと大変なので、数時間単位で預けれるところがあればいいなと思いました。あとは、小中高通して活動できるスポーツがなにか欲しいなと思います。簡単などころだとサイクリングとかジョギングとかが簡単だと思うんですけど、近くだと一戸に走るというかかけっこのスポ少みたいなのがあって、そこに通っている子たちが中学校に行っても県大会に行ったりだとか、一戸の子どもたちがちびっ子マラソンとかでも上位に入ってくると効果があるのかなと思ったりだとか、走るのは他のスポーツの土台や体力作りにもなるので、そういうのがあればいいのかなと思ったりしてました。

(部会長) はい、みなさんありがとうございました。まあ、私は年寄りの考えになるのかなと思いますけど、子どもが少ない一番は未婚者が多い。それから、町に産婦人科のお医者さんがいないということ。それから、高校を卒業しても働く場所が少ないということ、を書かせていただきました。ま

た、良い点としては出生後の支援というのは十分にあると思います。訪問したり健診したりというのは保健師さんたちがいっぱいやってくれています。それから、保育園や小中学校に通っている間の支援というのも十分というかたくさんあるなどと思って書かせてもらいました。なかなか切羽詰まったというか、子育て中の方々とは違った意見ではありますが。それでは、マジックでもありますか？これを今度はグループ分けにしていきたいと思います。

(複数委員) じゃあ、まずこっちが良いほう。で、こっちが課題？いや、良いところ悪いところのテーマ別でなく、テーマごとに並べてから良いところ悪いところに分けて。あ、これは子育てをしていく上でこう言ったところにも補助が欲しいという意味で…。じゃあそれもここにカッコ書きで付け加えたほうがいい。子どもの希望もあるからね。親はほら、いくらでも近場に入れたいんだけど、子どもが行きたがるから…。これは病院関係ですかね、病院・健診は福祉関係…。

(事務局) じゃあグループ分けもできたみたいです。それぞれの良いところというのは今後も継続して行ってほしいという部分で良いのかなと思うんですが、課題についてはあればぜひやってほしいというところだと思います。それらを今度、提言としてまとめるというのをやっていかないといけないと思うので、今日来ていない人もいますので、またこれをまとめて送って、提言にするにはどうすればいいかというのを次また考えて来てもらって、ということにしますか。

(部会長) では、そういうことで次のテーマに行きましょう。次は就職してから出逢いまでですか。

(委員4) まあ、就職してからというよりもまず就職口というか働くところが少ないですね。

(委員5) それから、新婚さんの住むところ。不動産屋がないから探しにくい。

(部会長) 前に長倉の人も言ってたよね。帰ってきたけど住むところがない、どこで探せばいいかわからないって。

(委員2) 町営住宅はひとり者は入れないんですか？民間のアパートとかだと家賃がけっこうするし、町営住宅は独身だから入れない、という話はよく聞きますよね。

(委員5) 確かにどれくらいのニーズがあるかわからないんだけど、独り者でもアパートに入っていれば、そういう人たちが軽米で働いて出合って、結婚してという風につながっていくかもしれないなと思っています。さっき話にあったように、ホントは軽米に住みたいんだけど二戸に住みましたという話とか聞くと、彼女を見つけてっても遠いなって二戸の方で見つかりとかそういうのもあるんじゃないかなと。

- (委員2) 結局今どんどん人が減っているじゃないですか。町に人を呼び込む方法を考える上でいくと、ちょっと残念な結果かなと。人口が一人増える予定がなくなってしまった。
- (部会長) 学校の先生とかもそうだよね。軽米に転勤になってきても住むところがないからって二戸や八戸に借りて。
- (委員2) 生活の便がいいのもあるんでしょうけど。
- (委員5) まあ学校の先生たちは自分の生徒がいるところには住みたくないというのもあるかもしれないですけど。
- (委員4) だから教員住宅なんかもガラガラで、そこを改修して貸してくれないかなんて言う声も聞いたりしますけど、それは教員住宅だから駄目だという。まあ笹渡のは改修するにも古すぎて建て替えになるかもしれないけど。
- (委員3) 就職先がないから軽米から出ていくのはやっぱりその通りだと思う。
- (部会長) 帰ってきてても農家やるしかない。好きな人であればいいけどもね。
- (委員5) そういうふうに結婚して戻ってくる人たちのために、町営住宅なり民間なりに住むための補助とか何か出せるのであれば、もう少しPRになるのでは。
- (委員2) 他のところでも外から来て何年か住めばその土地をあげるとかなんとかも聞いたことがあるけども。
- (委員4) やっぱり、お金の割に便が悪かったり部屋が狭かったりするところもあるみたいで、家の子どもが小さい時に部屋を借りて住んでたことがあるけども、すごい雪道をだっこして歩いたり、駐車場は離れてるし狭くてすごく不便さを感じた。
- (委員2) 結婚の話をするれば、成人の未婚率っていうのは結構高いんですか？
- (委員3) 仕事してるっていうのもあるんじゃないですか？
- (委員5) うちの友達なんかは、結婚しても子供を産んで育てるだけの収入が安定してない、という。
- (委員1) やっぱり、ここだけじゃなくて全般的な大きな問題ですよ。
- (委員4) きちきちでやっているからね。奨学金借りたりアパート代払ったり。
- (委員1) 軽米の良さってどこなんですかね？外から来て人でないとわからないのかな？
- (委員5) いま、軽米の良さは外から来た人でないとわからないという話が出たけど、やっぱりその通りだと思う。
- (委員2) さっきも出ましたけど、南郷なんかはいろんな施設が充実してるとかあったじゃないですか。
- (委員4) 山の学校なんかもあって、いろんな体験したりそばはつとやったり。

(部会長) この間議会報とかでも見たけど、やっぱりアニメのファンが今ほんとにすごくてね。しょっちゅう町の人じゃない人が歩いているのを見かけるよね。大町のところなんかもすごいでしょ。

(委員4) だから、金田一のところなんかも200人も300人も来て泊まるんでしょ？

(部会長) それはまた、軽米には泊まる場所がないでしょ。それもあるんじゃない？ミレットとかには泊まれるのか。

(委員4) まあでもミレットに泊まるっても…。

(委員2) ミレットパークが一泊いくらかかってというのは町のホームページとかにも出ているんですよね？

(部会長) ええと、あとは何の話をするんだっけ？この3番目の交流駅建設検討委員会、これは副部会長にお願いしますということで話したんじゃないかなかったですか？

(事務局) あ、それはまた別の委員会の話じゃないですかね。これは今また新しく始まるやつなので…。

(部会長) あ、これはそうか。この前来たやつか。誰か、やってください。若い方か女性の方。これからできていく施設なんだから、これからの人たちが考えていかないとだめだよ。

(委員4) ええと、私やってもいいです。

(部会長) じゃあお願いします。でも、あんまり子育て世代のためのあれこれつけたりすると、公民館とかその分が小さくなったりするんじゃないの？

(事務局) なので、そのあたりのバランスやご意見をその委員会でいただくということです。では、交流駅の委員さんについては、お願いします。

(部会長) それでは第3回部会の進め方と開催日程について、ということです。

(事務局) それでは、今日でた課題などをまとめて欠席の委員さんたちにも送って、これからどうしようというのを考えてきてもらって、それを提言としてまとめるというのを次回やりたいと思います。

(部会長) そうすると、次回が10月の下旬から11月上旬。時間帯は？

(事務局) まずは部会長さんの都合が第一です。いかがですか？10月23,24のあたりから、11月の10,11までのあたりだと。

(部会長) 私はもう、平日の夜の方がいいけどね。

(事務局) では、11月4日をまず第一候補として、平日の夜ということでよろしいですか。

(部会長) 時間は？

(事務局) 6時半くらいでいかがですか？

(部会長) では、それで。以上で本日の議事はよろしいですか？

(健康福祉課長) ありがとうございます。それでは、その他ですが、なにかございますでしょうか？

(委員3) あの、ちょっとすいません。以前に百人委員会が出された意見に対する役場からの回答があったと思うんですが、これを見ると実際役場さんだけでは解決できないものもあると思うんです。それに対して、自分の中でヒントがあったら役場に対して、例えば高齢者部会の中のこの意見こういう考えがあったんだけどどうでしょうか、というのは…。

(部会長) 他の部会の見学とかはしないってことになったけども。

(委員3) 見学や傍聴というよりは、例えば自分たちの団体に来た案内を他の団体に紹介したいときなんか…。

(部会長) それぞれの団体があるからそこに通せばいいんじゃない？

(委員5) その団体や他の組織が見えにくいというのも課題の一つかもしれない。

(委員4) それぞれの団体が分からないから相談しづらいというものもあるかも。

(健康福祉課長) そういったのも一度役場に紹介してもらえれば。それでは大変お疲れ様でございました。お時間となりましたので、以上で本日の部会は終了とし、引き続き講演会の方にご移動をお願いします。お疲れ様でした。ありがとうございます。